

FUKU-FUKU



まんが・漫画・マンガ展! 2019

高知漫画集団・高知漫画グループくじらの会合同作品展



【自由作品】
連載福祉ブログまんが「まめ太」緑の魔法使い
(高知漫画グループくじらの会)



【テーマ:シン元号】
「パンダのシン元号」
クメヒロオ
(高知漫画集団)



【テーマ:シン元号】
「たてまえとほんね」
岩神よしひろ
(高知漫画グループくじらの会)



【テーマ:シン元号】
「シン元号」
さかもと清敏 (高知漫画集団)

地元高知の2つのまんがグループ、高知漫画集団・高知漫画グループくじらの会による合同作品展も今春で17回目の開催となりま
す。普段創作活動を共にしていないグループ
が一つの合作ジオラマを制作します。その
テーマは「お堀の水、抜きました!」。水を
抜いたお堀からは「なに」が現れるでしょ
うか? たのしみですね!
参加者全員が同じお題に挑む競作テーマは
「シン元号」。新たな元号となる今年、自分
で元号を決められるとしたら? シン元号か
ら想像される出来事とは?
そして恒例になってきた交流コーナーは、
グループ外からの応募作品も併せて展示。今
年は中高生に限定して募集をします。テーマ
は設けないので、自由な発想で思いっきり楽
しんだ作品を待っています!

テーマ作品
に加えて1コ
マまんが、4コ
マまんがなど、
それぞれの作
家がまんがの
発想で得意な
分野に挑んだ
自由作品も多
数出品されま
す。個性溢れ
る高知のまん
がを是非ご覧
ください。

フクちゃん 横山隆一 (1958年)



関連イベント

★似顔絵コーナー
あなたの似顔絵をお描きします!
開催日 ● 会期中の土、日、祝日の9日間
(予定) 3月16日(土)・17日(日)・21日(木)
祝)・23日(土)・24日(日)、30日
(土)、31日(日)、4月6日(土)・7日(日)
時間 ● 11:00~17:00 (途中休憩あり)
場所 ● まんが館企画展示室入口
参加費 ● 色紙代100円+チャリティー
※募金は、「NPO法人高知こどもの図
書館」への寄付を予定しています。



★交流コーナー
あなたの作品を会場に展示!ぜひご応募ください。
募集テーマ ● テーマは特に設けない。「シン元号」でもOK。
応募条件 ● 高知県内中高生、オリジナルまんが作品に限る
募集規格 ● A4サイズのケント紙・画用紙等
(カラー・白黒、手書き・CG等不問)
作品裏面に鉛筆書きで以下の必要事項を明記
①氏名(ふりがな) ②年齢 ③住所
④電話番号 ⑤返却の要不要(来館・郵送)
応募点数 ● 1人1点(複数人による共作可)
応募締切 ● 2019年2月28日(日)必着
応募方法 ● 横山隆一記念まんが館へ郵送もしくは持参
展示 ● 「まんが・漫画・マンガ展!2019」会場内
返却 ● 返却希望の場合は、応募の際に料金分の切手
を貼付した返信用封筒を同封するか、または4
月13日(土)~5月12日(日)の間に横山隆一記念ま
んが館に引き取りにおいでください。

期 間 ● 2019年3月16日(土)
~4月7日(日)
場 所 ● 横山隆一記念まんが館
企画展示室
時 間 ● 9:00~18:00
休館日 ● 月曜日
観覧料 ● 無料
主 催 ● 公益財団法人高知市文化振興事業団
横山隆一記念まんが館

退任にあたって

横山隆一 記念まんが館館長 永野 貴代美

今月31日をもって、まんが館長の任を退くことになりました。2年間という短い期間ではありましたが、大きな事件・事故もなく務めることができましたのも、市民や関係者の皆様、スタッフの皆様のご支援、ご尽力のおかげと心から感謝いたします。

着任前年の2016年「フクちゃん誕生80年」に引き続き、2017年は、横山隆一記念まんが館開館15周年の記念の年ということで、隆一の人となりを紹介しようと、隆一の多彩な趣味の中でもひとときを異彩を放つ「珍コレクション」を紹介する「隆一 珍コレクション展」を企画・出品・お蔵出し！を開催しました。

続く2018年には絵本原画を中心とした資料を横山家から新たに寄贈いただき、整理とお披露目をおこなって「隆一えほん原画展」を実施。アメリカの人気絵本作家ドクター・スー原作絵本を隆一が絵をリライトした際の原画や隆一オリジナル絵本の原画、切り紙を素材として創られた、切り紙絵本全15作品等、隆一独特のほんわりと温かみのある原画の世界を楽しんでいただきます。

「横山隆一」は知れば知るほどどんどん興味がわいてくる人物で、日常生活、趣味、交友関係、コレクション、何を取り上げて驚かされることばかりです。そして共通して受ける印象は、どんな事柄も面白がり、人を巻き込んで楽しんでしまうというその器の大きさです。隆一は著書も多く出しておりますが、それを読むと発想や物事への対処が大変ユニークで、遊び心が数々の作品創作の原点であることがよくわかります。



まんが館は、横山隆一の顕彰以外にも有名なまんが家や人気アニメの全国巡回展、地元まんが家やまんがに関する取り組みを紹介する企画展のほか、四国最大級のまんがイベントとなった「まんざいーこうちまんがフェスティバル」の実施、毎年全国各地から1,000点ほどの作品が寄せられる「まんがの日記念・4コマまんが大賞」の実施と優秀作品の展覧会、小学生対象の夏・冬のまんが体験教室など、年間を通して大人から子供までが楽しめる事業を実施しています。

さらに、ここ数年、文化施設に求められる役割が多様化し、外国人観光客の受け入れ、社会的包摂（ソーシャルインクルージョン）の必要性もいわれるようになってきました。高知でも、大型客船入港が急増し海外の観光客が増加、観光やレジャー施設としても期待されるところが大きく、多言語対応の充実はもちろんのこと、障害を持たれている方や乳幼児、高齢者、妊婦、旅行者等あらゆる人を受け入れ楽しんでもらえるような仕掛けづくりが求められるようになってきました。

さて日本は、4月1日に新しい元号も発表となり、5月1日には天皇交代と改元という大きな節目を迎えます。横山隆一記念まんが館も新館長のもと、全職員が心を一つにして、新たな挑戦に取り組まれることを大いに期待しています。最後になりましたが、これまでまんが館をご支援いただきました皆様には、深くお礼申し上げますとともに、今後ともなお一層のお力添えをお願い申し上げます。本当にありがとうございました。

行事案内 INFORMATION

この史代の「ギガタウン」漫符図譜展



「この世界の片隅に」などで知られる、この史代が昨年発売した『ギガタウン漫符図譜』の世界を紹介する展覧会を開催します。この本は、宝島社『このマンガがすごい2019』にもランクインしています。

照れた時や恥ずかしい時に頬に浮かぶ「斜線」や、焦った時や運動した時に飛ぶ「汗」など、まんが独特の表現記号である“漫符(まんぷ)”を、国宝「鳥獣人物戯画」に登場するキャラクターを現代風にアレンジして解説。展覧会では、この「鳥獣人物戯画」にオマージュを込めたこの本を原画で紹介します。

原画の一部は今年5月から8月にイギリスの大英博物館で開催される日本まんがの展覧会「Mangaマンガ」への出展が決まり話題となっています。

また、漫符やまんが表現の豊かな世界を深く掘り下げた解説や、漫符と一緒に写真撮影ができるコーナーもあります。どうぞお楽しみに！

- 開催期間 ● 2019年4月26日(金)～6月30日(日)
- 開催場所 ● 横山隆一記念まんが館 企画展示室
- 時間 ● 9:00～18:00 (最終入場17:30)
- 休館日 ● 毎週月曜日(但し4月29日・5月6日は開館)
- 観覧料 ● 一般600円(500円) / 大学生・専門学校生400円(300円) / 中・高校生300円(250円) / 小学生200円(150円)

小学生未満無料(保護者同伴のこと) ※ ()内は前売り料金。別途65歳以上、障がい者割引あり。

主催 / 公益財団法人高知市文化振興事業団 横山隆一記念まんが館、KUTVテレビ高知
協力 / 朝日新聞出版、京都国際マンガミュージアム



4コマまんが大賞

恒例の4コマまんが大賞作品展を2018年の12月から今年の1月にかけて開催しました。

14回目となる今回は、全国から寄せられた959点の応募から、一次審査を通過した作品と、高知県内からの応募作品、そして昨年の入賞作品を加え、合計305点の作品を展示しました。

すっかりおなじみとなった、惜しくも入賞を逃した作品の中から、来場者が会場審査員になって選出する「ギャラリー

賞」の投票も実施。ご来場いただいた方は一点一点じっくりと好みの作品を選んでいただきました。熱心な審査で選ばれたギャラリー賞は、一般部門から4作品・ジュニア部門から4作品。いずれもアイデアいっぱいの素晴らしい作品が選ばれました。

4月からは第15回まんの日記念・4コマまんが大賞の募集が始まります。こちらも多くの方のご応募をお待ちしております。

ギャラリー賞 一般部門

「むかし話」



佐藤充孝 (神奈川県横浜市)

「かたち」



寺嶋由美子 (栃木県栃木市)

「キーホルダー」



新田のりあき (香川県東かがわ市)

「キロクアム」



ギャラリー賞 ジュニア部門

「強いおばあちゃん」



塩瀬英恋 (東京都江戸川区)

「おなら」



西部和沙 (高知県高知市)

「牛乳大好き〜たら娘」



福岡紀子 (愛媛県内子町)

「ポンドの毎日」



八木橋美涼 (東京都江戸川区)

高知県立高知城歴史博物館館長
渡部 淳



歴史の中の正義

一昨年から二ヶ年にわたり開催された「志国ごうち 幕末維新博」では、高知城歴史博物館はメイン会場の一つとして、特別展「明治元年の日本―戊辰戦争 それぞれの信義―」を企画した。東北からも多くの資料を借用しての大規模展示は、まさに「歴史に絶対的正義はない」ということを確認するものであった。

自らを振り返った時、英雄や偉人ではなく、市井で人知れず生きた人々や、時代に翻弄されながらも懸命に生き抜いた人間が主人公の書物を好む癖があることに気がつく。

漫画でいえば、『カムイ伝』、『カッパの三平』など、時の権力がいう「正義」に振り回された主人公たちが、やるせないさや、時に絶望感すら漂わせながらも、必死に生きていく姿に共感を覚える。

近年でいえば、『るろうに剣心』。幕末から維新という時代の大転換期に、主人公やその敵たちが、信念と迷いの間で揺らぎながらも、何度も繰り返すそれぞれの「正義」という言葉こそが、歴史に「絶対的正義」はあるのかという、深い問いかけであった。

やなせたかしが、『アンパンマン』で語った正義もそうである。「正しい」正義とは、目の前にいる人の空腹を満たしてあげるくらいのことではなからうか、それも必ず自己犠牲を伴う。更にはやなせは言う「ばいきんまんも、絶対悪にはならない。」と。

行事報告
REPORT

冬休みまんが体験イベント
まんがで遊ぼう！クリスマススイブ²



恒例の冬休みまんが体験イベント「まんがで遊ぼう！クリスマススイブ」がまんがライブラリー2で2018年12月23日(日・祝)に開催されました。

開催中の4コマまんが大賞作品展のギャラリー賞での投票を済ませた40名の参加者は、クリスマスカード、クリスマスツリー、カレンダー、缶バッジの中から選んだ工作やお絵かきを、家族やお友達といっしょに楽しんでいました。

まんが館入り口では、今年もクリスマスツリーとサンタさんが来館者をお迎え。クリスマスモードたっぴりの楽しい一日となりました。

行事報告
REPORT

特別展示で「フクちゃん寄せ書き」
公開&四国まるごと美術館参加

高知市内中心部にある8つの文化施設が連携する「高知お城下文化施設の会」(通称「お城下ネット」)が、合同でイベントを開催する「お城下文化の日」が2018年11月18日(日)に行われました。まんが館では、この日限定の特別公開として「フクちゃん寄せ書き」と、寄託資料「やなせたかし色紙」を披露しました。「フクちゃん寄せ書き」は2018年2月に横山家から寄贈されたもので、サインに記された日付から1985年頃のものと思われる。石森章太郎、手塚治虫、松本零士、やなせたかし、矢野徳など漫画集団所属のまんが家など57名の描いたフクちゃんやサインの直筆寄せ書きで、横山隆一の交友関係が偲ばれる資料です。

また、11月3日(土)〜12月16日(日)の期間、まんが館受付前に、アニメ制作会社「タツノプロ」のキャラクターをモチーフにした作品を展示。これは、四国内88の施設にタツノコキャラとアーティストのコラボ作品を展示する「四国まるごと美術館」タツノコジエック!88カ所アートめぐり〜の企画で、まんが館には「科学忍者隊ガッチャマン」と高知のよさこい祭りを使う「鳴子」をアレンジした作品が展示されました。



高知
まんが家
だより

デムラユキノリ
ラフとライギユア開催!

高知市出身で全国で活躍するフィギュアイラストレーター、デハラユキノリさんの個展が高知市本町のファウス トギャラリーで開催されました。

デハラさんは毎年高知で個展を開催しており、今年も「ラフとフィギュア」をテーマに、インパクト抜群のラフ画とフィギュア約60組を中心に展示されました。

オープニングパーティーでは、即興演劇(?)とライブドローイングが融合されたパフォーマンスも繰り広げられ、来場者を大いに沸かせていました。



高知
まんが家
だより

もふもふライフを堪能!
『けもらいふ』出版!!



© 雪本愁二 / 講談社

ツイッターで話題の、ちよびり変わった動物たちとカワイイ女の子たちのほんわかライフを描いたまんが『けもらいふ』が単行本になりました。

作者の雪本愁二さんは地元高知を中心に、ツイッターやPinterestでも活躍中。昨年11月に開催された「まんさい」こうちまんがフェスティバルでまんが指導を行うなど、幅広い活動をされています。

小鳥なのに人より大きいインコや、飼い主の頭の上に隠れて姿を見せない柴犬。どこか変な動物たちと女の子たちのもふもふライフを読むと、今日あったイヤなこと、もいっつの間にか忘れちゃいます。日夜、疲れとストレスと闘う現代人の癒しの1冊となること間違いなし!是非、ご一読ください。

お詫び ●2018年9月14日発行の「FUKU-FUKU Vol.67」の「高知県勢快挙!! 第27回まんが甲子園」記事内にて出場学校名をまちがえて記載しておりました。誤「県立高知東高等学校」→正「県立高知東工業高等学校」。お詫びして訂正致します。

館のご案内

開館時間 9:00~18:00
休館日 毎週月曜日(祝日・振替休日の場合は開館) 年末年始(12月28日~1月4日)

常設展示観覧料
一般410円
団体(20名以上)320円・65歳以上200円・高校生以下無料
身体障害者手帖(1,2級)、療育手帳及び精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方とその介護者(1名)は200円

お問い合わせ先
〒780-8529 高知市九反田2-1
高知市文化プラザかるぼーと内
横山隆一記念まんが館
TEL:088-883-5029 FAX:088-883-5049
URL:http://www.kfca.jp/mangan/
E-mail:mangan@kfca.jp



横山隆一記念まんが館へは、高知市文化プラザかるぼーと3階入り口よりご入場ください。

フクわ
話内
うち

◆今年1月~2月にかけてのインフルエンザの流行は驚異的でした。全国で1週間に受診した患者数の推計が二百数十万人を超えたとの報告が出されたりもしました。この拡散のスピードと広がりにはSNSを思い浮かべます。インフルエンザウィルスの代わりにアニメやまんがのキャラクターが世界中に漂っていたら……。いま5階企画展示室では地元まんが家の作品展「まんが・漫画・マンガ展!2019」を開催中。個性豊かな作品がいっぱいです。ぜひ覗いてみてください。(葉月)